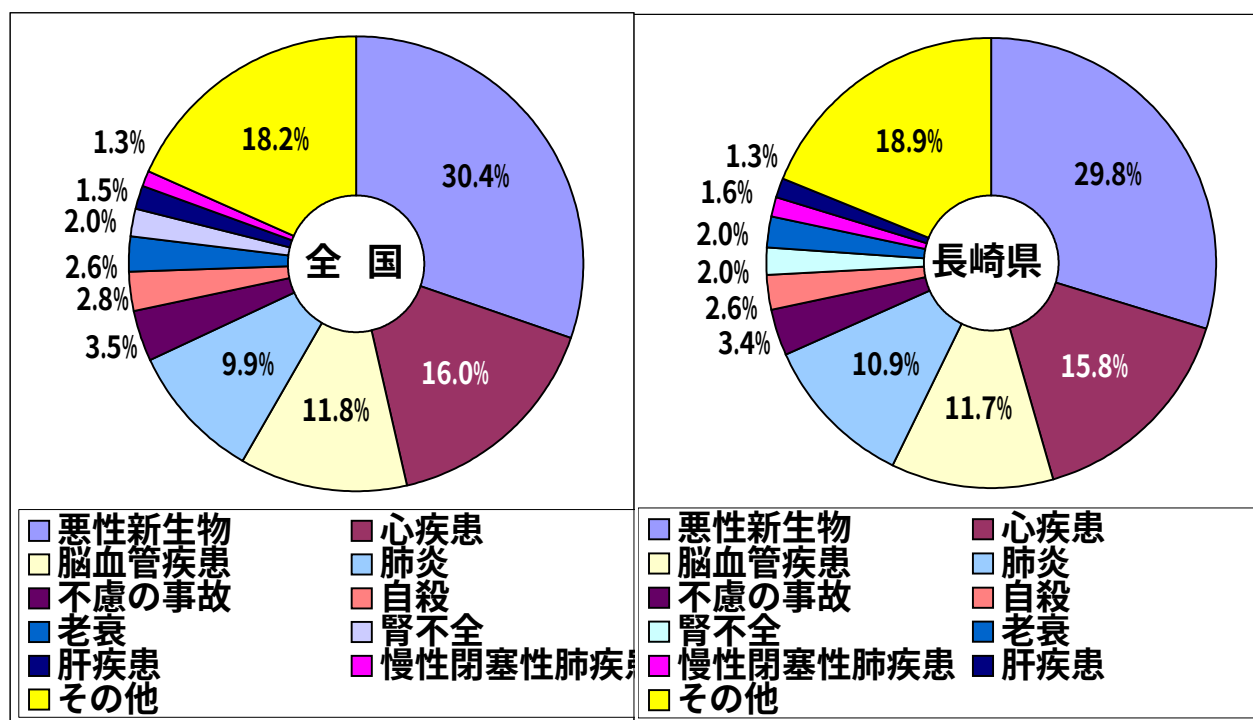


死因別死亡の概況



平成 18 年における本県の死亡数は、14,941 人で、前年より 75 人増加し、人口千人当たりの死亡率でみると、10.2 で前年より 0.1 ポイント高い。

なお、全国平均 8.6 との比較では 1.6 ポイント高い（全国順位 13 位）。

死亡順位・死亡率（人口 10 万対）を主要死因別にみると、第 1 位 悪性新生物（ガン）305.1、第 2 位 心疾患 161.1、第 3 位 脳血管疾患 119.4、第 4 位 肺炎 111.2、第 5 位 不慮の事故 34.7 であり、いわゆる三大死因が上位を占め、全死亡数の 57.3% となっている。

なお、本県の悪性新生物による死亡率は、全国の 261.0 に比べて 44.1 ポイントも高い（全国順位 10 位）。

悪性新生物の死亡率（人口 10 万対）を部位別にみると、男では、肺 92.7、胃 53.4、肝 47.8 の順に高く、女では、肺 34.7、胃 27.5、肝 21.0 となっている。

（県福祉保健課）